



釣り人集會



千歳地区の釣り好きが集まり、苜花フィッシングクラブを結成して三年。

四季の魚を求めて、定例会を年四回・その他、臨時大会等、和気あいあい、釣りを心ゆくまで楽しんでます。

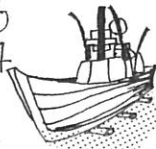
発行：編集委員会
編集：堀江 貞雄
責任者：砧才2出張所内
事務局：(482)0343
1987. 3 № 20

ちとせ 砧才2

連絡先

事務局

(300)8704



さては皆、根っからの釣り人、「釣れて喜び、釣れなくては騒ぐ」の信条で、今日も、元氣一杯釣りに向ってあります。日曜日の大会以外、ウィークデーの大会や遠征を企画し、ますます多くの釣り仲間が集う会を目指しがんばります。釣り好きの方々の参加、大いに歓迎します。

わがまち

古き一枚の表札



散歩中ふと目にとまった変哲もない表札だが、「北多摩郡廻津」と記載されている。この番地名に興味をもって取材してみた。

当社は昭和十一年世田谷区に編入され、世田谷区廻津と呼称されるようになった。その後、環状八号線開通と共に同区船橋二の九番地と表示変更になり、現在に至っている。

宅前の道路は晶にかこまれ一路、苜花公園に通じていた唯一の散歩道で、環状八号線断（氏は口くせのように「こんな居住の地はないよ」と言っていたそうだ。「この地に対する父の愛着心の思い出として残してあるのですよ」と、娘さんは事情を語ってくれた。

氏はすでに他界され、当時の模様を直接取材できなかったことが残念だったが、古今を知る貴重な資料として紹介させて頂いた。

(小山 巖)

昔は学校から帰るとすぐに家を出して、近所のがき大将を中心に、泥だらけになって夕方遅くまで遊ぶ呆けたものだった。でも今は、そんな遊びが見られなくなりました。そこで本校では、年三回、学年・学級のわくをはずして六年生と二年生、五年と三年、四年と二年が、男女混合、各学級三グループくらいに分かれてこれを組み合わせて、「兄弟学級」を編成して遊んだり活動したりする機会を作って楽しんでる。

きょうだい

仲よく!!

八幡山小学校



い、こま回し、力リタ、だるまさんが転んだ、などしてたつぶり二時間、お兄さんお姉さんのリードで、遊びを楽しんでい

一期は、苜花公園まで全校歩き遠足をする。公園では大きい子のリードでハンカチ落としをやったり、どろけい遊びに興じ、芝の上を



4月12日 東京都知事選挙
東京都議会議員補欠
4月26日 世田谷区長選挙
世田谷区議会議員
の投票日です

出張所からのお願い

3・4月の土曜日の窓口は大変混雑いたしますのでなるべく平日をご利用ください。

地域めぐり

◎ 不燃ごみ処理・中継所 完成

★収集車二五台分を
中継車は一四台で!!

世田谷区から排出される不燃・焼却不適ごみを効率的に収集・運搬するため、このたび、世田谷区船橋七丁目2番、碓氷掃工場前に、希望丘中継所が開設され、4月1日から稼働する。

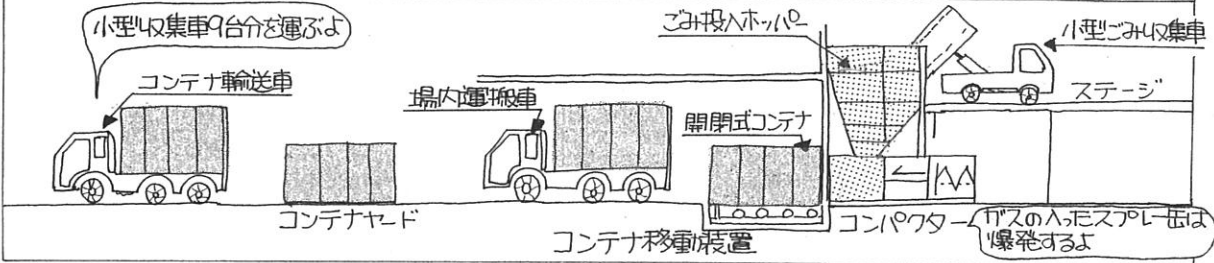
希望丘中継所では、収集車で運ばれてきた不燃焼却不適ごみを、コンパクターで圧縮しながら大型コンテナに積み込み、中継車で中央防衛堤外側の埋立処分場に運ぶ。

— 希望丘中継所 —	
敷地面積	2573.06 m ²
建築物	鉄筋2階建
処理方式	コンパクターコンテナ方式
処理量	1日150トン

処理能力は、1日当り150トンで、収集車125台分を、中継車は14台で運ぶことができる。

●お願い●

スプレー缶などは、圧縮により破裂することがありますので、中身を抜いてから出すようにお願いいたします。(清掃局)



★家庭ごみは ルールを守って出しましょう

昨年10月に、ごみの排出ルールが一部変更されました。やせを導く「袋」で排出する場合は、次のルールを守って下さい。

- ごみを袋で排出する場合のルール...
- ▼可燃ごみ通しの回収(耐水性、耐重性のある丈夫な「紙袋」を用いる。できれば、市販の「紙袋」を使用して下さい。)
- ▼分別ごみ通し回収(中身が判別できる耐重性のある丈夫なポリ袋等を用いる。)
- ▼袋は、必ず「口」で縛めて、ごみが飛散しないようにして下さい。
- ▼ごみは収集車が来る前に必ず出してください。

2月13、16日に「身近なまち」駅北側の放置自転車を移動し、ごみ収集車「進算」商店会」と区が共同して、消防車、清掃車等が入れない、通行に危ないよう、使い易いよう気を配り、苦情の絶えない千歳船橋につけましょう。

住まひまに

なものです。みんなが他人の迷惑にならぬものですね。



編集マウキ

「ちとせ」も88年5月の創刊号より今回20号。人間でいえば成人式。そんな問題・初めの①写真②カラーのイラストが載ったのは何号? 今後ともよろしくお願ひします。(客の307)

地名

— 船橋編 —

昔、多摩川の入江の地で、川に舟橋を架したのにちなむとか、藤原秀郷の末流佐野景綱の手船橋香網より出た、その子古網一族が下野より来住したによるのも伝える。(千歳村史)天文22年古良頼康判物に「施次之内船橋谷」とあるのが初見(大平家文書)。検地は慶応4年と元禄8年、村高は88石余、天保郷帳では36石、幕末には140石、化政期の家数9軒、その頃の字名は)

鈴木領勢家文書(昔場、よし場耕地、とうか丸、向洞、口稻荷前・南道通り、かやば、西原、芦場堤上耕地、腰巻耕地、谷下、向山、田井、大道端、稻荷丸等がある。よし場のよしは葦、蘆葦とも書く。今の船橋5丁目、6丁目あたりは葦根という地名は千歳村時代の字名で見られるが、この名にちなんでつけられたと思われる。



明治4年東京府同7年神奈川